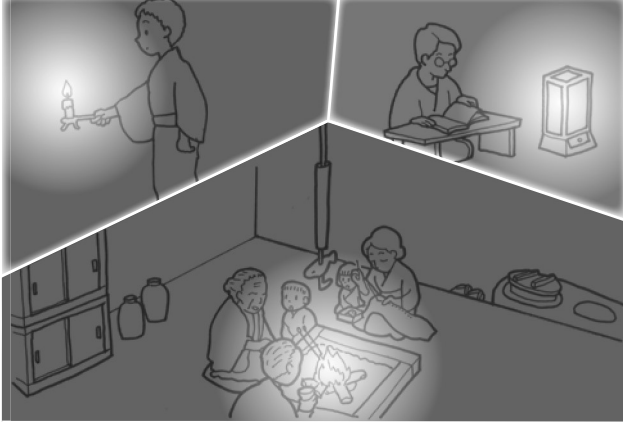


暮らしの **あかり** について考えよう

昔

でんとう
電灯がなかったころ、どんな暮らしだった
でしょうか。絵を見て考えてみましょう。



今

今の暮らしはどうか変わったでしょうか。
みんなの家であかりをつかう場面ばめんを思い
出して、絵や言葉でかいてみましょう。

むかしは、どのようなあかりをつかっていたのでしょうか。
「むかしの暮らし（しりょうへん）」でしらべて、書いてみましょう。

むかしの暮らしのあかりについて、しらべてわかったことや、
民家園でかくにんしたいことをまとめておきましょう。

昔のくらしのあかり(しりょうへん)

名前

電灯でんとうがなかったころ、どのようなあかりをつかっていたのでしょうか。昔の民家に住んでいた人たちに教えてもらいました。どの民家のお話か、民家園の園内マップでかくにんしてみましょう。



えむかい 江向さんの家のいろり

雪がつもったり雪がこいこいをしたらすると、昼でもまっくらになり、あかりがひつようになる。停電ていでんのあいだはガラスのロッカク(六角アンドン)でロウソクをともした。アンドンやランプ、カンテラもすみやきすみやき小屋こやでついていた。(野原さん)



すがわら 雪がこいをした菅原さんの家



ランプをつけるのは作業さぎょうにさしつかえるときだけだった。食事しょくじのときはつけても、すんだらけしてしまふ。ふだんはいろりの火があるだけだった。便所べんじょは外にあった。ロウソクなどはなかったので、かようときはヒョウビアブラをともしてさげていった。「ヒョウビアブラ」とは、ヒョウビ(イヌガヤ)の実をしぼったもの。これをひょうそく(写真)に入れ、灯心とうしんをさしこんで火をともした。このほか、アンドンもつかった。(山下さん)



アンドン

しょうわ 昭和3年(1928)に電気が入る前は、「つるすランプ(石油ランプ)」だった。しかし、ランプのない家せきゆもあり、そうした家では石油を皿さらに入れてポーっともやしていた。(工藤さん)



いとう 伊藤さんの家のランプ



あぶら 油で火をともす油皿



ひょうそく

くらしのあかりを
かんがえる

ポイント!

人とあかりのれきしは、ぐうぜん手に入れた火でたき火をしたことがはじまりといわれています。それからげんざいまで、あかりはどのようにかわってきたのか年表で見てみましょう。

火のあかりのじだい

電気でんきのあかりのじだい

木をもやす

油あぶらやろうそくをもやす

石油せきゆやガスをもやす

電気をつかう

・100 万年以上前

・江戸時代(1603～)
植物の種や魚から作られた油
ロウソクが広まる

・江戸時代終わりごろ(1853 年ごろ)
石油ランプが日本に伝わる
・明治5(1872)年
ガス灯の登場

・1800 年代に電灯が発明される
・白熱電球
・蛍光灯
・LED

くらしの運ぶ道具^{はこ}について考えよう

名前

昔

むかしは、どのような道具でものを運んでいたのでしょうか。
「むかしの暮らし（しりょうへん）」でしらべて、書いてみましょう。

くらべてみよう！ 今のくらしはどうかわったでしょうか。みんなのくらしでつかう、ものを運ぶ道具を
思い出して、絵や言葉でかき、むかしの道具とくらべてみましょう。

むかしのくらしの運ぶ道具について、しらべてわかったことや、
民家園でかくにんしたいことをまとめておきましょう。

昔のくらしの運ぶ道具(しりょうへん)

名前

いまのようなのりものがなかったころ、何をつかってものをはこんでいたのでしょうか。昔のくらしを広瀬家（ひろせけ）に住んでいた人に教えてもらいました。それぞれの民家にてんじしている運ぶ道具をさがしてみましょう。



広瀬さんの家のショイコ

ショイコ…にもつをくくりつけて、せおって運ぶための道具

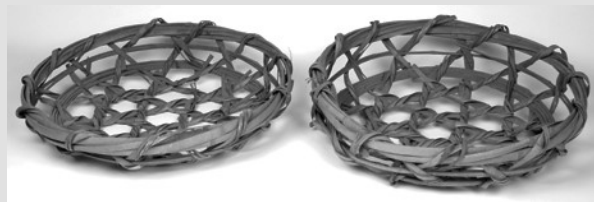
買いものには、テンビンボウをしょって行った。10 kmはなれている町まで、行った。
(広瀬さん)

ショイコは一輪車・自動車をつかうようになるまで（だいたい70年くらい前）、使っていた。
お米の入った俵や、マキ、木の枝などを運んだ。
力のある人は、200キロ、普通の人で60キロから75キロ（大人の男の人1人分くらい）の重さのものにもつをせおった。
つかう人の体の大きさにあわせて、いろいろなサイズのものをつかった。一つの家で5つから7つくらいもっていた。
(広瀬さん)

テンビンボウ…真ん中らへんをかたにかけて、ぼうの前と後ろにオケやカゴをつりさげて運ぶためのぼう。



広瀬さんの家のテンビンボウ



広瀬さんの家のテレンカゴ

○広瀬家では、テンビンボウにテレンカゴをつりさげてつかいました。

運ぶ道具を考える **ポイント!**

運ぶ道具のれきしは、のりもののとう場でかわってきています。げんざいまで、どのようにかわってきたのか、見てみましょう。

人・どうぶつだけで、運んでいた時代

のりものをつかって運ぶ時代

人・動物が運ぶ

てつどうをつかう

車をつかう

ひこうきをつかう

- ・人の力で運ぶ
- ・馬、牛に背負わせて運ぶ

- ・1825年（200年前）イギリスではつ明される。
- ・1872年（150年前）日本ではじめて走る。

- ・1769年（250年前）フランスではつ明される。
- ・1904年（120年前）日本ではじめて走る。

- ・1903年（120年前）アメリカではつ明される。
- ・1910年（110年前）日本ではじめてとぶ。